

マクロ経済レポート（2022年4月）

在ザンビア大使館
経済・開発協力班

1. 主要経済ニュース

<p>1. 「ERB、燃料価格を引き上げ」（Daily Mail; Daily Nation; Times of Zambia、1日） 3月30日深夜、エネルギー規制委員会（Energy Regulation Board: ERB）は、ロシアとウクライナの地政学的対立を主な要因とする世界的な石油供給問題を受け、石油製品の店頭販売価格を上方修正した。これにより、ガソリンは1リットルあたり4.54クワチャ、ディーゼルは4.68クワチャ、灯油は3.93クワチャ値上げされた。</p>
<p>2. 「政府、新型コロナウイルス規制を解除」（Times of Zambia、2日） 4月1日、政府はマセボ保健大臣（Hon. Ms. Sylvia T. Masebo, Minister of Health）のステートメントを発表し、集会、旅行、教育機関、職場、礼拝における新型コロナウイルス規制を解除する旨を発表した。また同ステートメントによると、ザンビアへの渡航者に対してはワクチン接種を完全に了している場合はPCR検査は不要であるものの、未完了者はPCR検査による陰性証明書の提示が必要となる。</p>
<p>3. 「ザンビア、ルワンダとの貿易協定に署名」（Daily Mail; Times of Zambia、5日） 4月4日、ザンビアとルワンダの代表団は、リビングストーンにて貿易・投資協力、移民問題、保健、漁業、家畜開発等を促進することを目的とした7つのMOUに署名した。MOUの締結に先立ち、ヒチレマ・ザンビア大統領（H.E. Mr. Hakainde Hichilema, President of the Republic of Zambia）とカガメ・ルワンダ大統領（H.E. Mr. Paul Kagame, President of Rwanda）は二国間協議を行い、両国の経済的繁栄を促進するための様々な開発事項について協議した。</p>
<p>4. 「内閣、8NDPの草案を承認」（Daily Mail、6日） 内閣は国民生活向上のため社会経済変革を達成することを目的とした第8次国家開発計画（Eighth National Development Plan: 8NDP）の草案を承認した。8NDPの対象期間は2022-2026年であり、「経済改革及び雇用創出」、「人間・社会開発」、「環境の持続可能性」、「良いガバナンス環境」で構成される4つの開発の柱を持つ。</p>
<p>5. 「ルサカでコレラへの感染が確認」（Daily Mail; Times of Zambia、12日） ルサカにて3歳の女児のコレラ感染が確認されたほか、チルンドゥにて99名のビルハルツ住血吸虫への感染が確認された。マセボ保健大臣は、同女児はコレラと診断された後カリガ診療所に収容された旨述べた。</p>
<p>6. 「LS-MFEZ、1億米ドル相当の投資を誘致」（Daily Mail、21日） ルサカ南部複合的経済特区（Lusaka South Multi-Facility Economic Zone: LS MFEZ）は、2022年第1四半期に、製造業、農産物加工、製鋼所に関する投資を1億米ドル相当誘致した。</p>
<p>7. 「ザンビアの債務再編に中国が乗り出す」（Daily Mail; Times of Zambia、23日） ムソコトワネ財務・国家計画大臣（Dr. Situmbeko Musokotwane, Minister of Finance and National Planning）がザンビアの債務再編の遅れについて不満を表明するなか、19日、ゲオルギエバIMF専務理事（Ms. Kritsalina Georgeiva, Managing Director, IMF）は、中国がザンビアの債権者委員会に参加することを約束した旨発表した。</p>
<p>8. 「ザンビア、マラリア患者数が減少」（Daily Mail、26日） ザンビアにおけるマラリア感染の症例数は2020年の740万件から2021年には約600万件へと減少した。21日、マセボ保健大臣はソルウェジにて世界マラリアデーの式典に出席した際に、右減少理由は政府によるマラリア予防・治療に関する取組への投資によるものであると述べた。</p>
<p>9. 「日本、1,600万クワチャ相当の生体認証キットを寄贈」（Daily Mail、27日） 26日、日本はUNDP・UNICEFとのパートナーシップのもと、統合国民登録情報システム（Integrated National Registration Information System: INRIS）の実施に向けたザンビア政府の取組を支援するため、1,600万クワチャ相当の生体認証キット116台を寄贈した。ムウィンブ内務・国内治安大臣（Hon. Mr. Jack Mwiimbu, Minister of Home Affairs and Internal Security）は、同キットの引渡式において、INRISは生体認証を利用した国民登録カードと出生・死亡証明書の提供を目的としている旨述べた。</p>
<p>10. 「ザンビアとコンゴ民主共和国が協力協定を締結」（Daily Mail; Daily Nation; Times of Zambia、30日） 29日、ザンビアとコンゴ民主共和国は、電気自動車用バッテリーとクリーンエネルギーのバリューチェーン開発を促進する歴史的な協力協定に署名した。同協定により、電気自動車用バッテリーと再生可能エネルギーのバリューチェーン開発における複合的貿易戦略が実施されることで、ザンビア・コンゴ両国にて何千もの雇用が創出され、両国経済を活性化させることが可能となる。</p>

2. 主要マクロ経済指標

マクロ経済指標	2021年	2022年
1. 人口（百万人）	17.89 (2020)	-
2. 人口増加率（%）	2.89 (2020)	-
3. 失業率（%）	13 (est)	13 (est)
4. 平均寿命（男/女）	61.1/67.2 (2020)	-
5. GDP（百万米ドル）*1	20,753 (est)	26,665 (est)
6. GDP成長率（%）	1.6 (est)	-
7. 一人当たりGNI（米ドル）	1,160 (2020)	-
8. インフレ率（%）	16.4 (Dec)	11.5 (Apr)
9. 消費者物価指数（2009年=100）	336.31 (Dec)	356.02 (Apr)
10. 貿易収支（百万米ドル）	4,008.02	1041.08 *2
11. 対日貿易収支（百万米ドル）	-509.99	-179.55 *3
12. 輸出（総額、百万米ドル）	11,007.01	2,954.42 *2
13. 対日輸出（百万米ドル）	175.73	79.80 *3
14. 輸入（総額、百万米ドル）	6,998.10	1,913.34 *2
15. 対日輸入（百万米ドル）	685.72	259.35 *3
16. 経常収支（百万米ドル）	2,319.9 (est, 2020)	-
17. 対外直接投資（百万米ドル）	133 (2020)	-
18. 対内直接投資（百万米ドル）	234 (2020)	-
19. 金・外貨準備高（百万米ドル）	2,800 (Dec)	-
20. 対外債務残高（百万米ドル）	17,270 (Dec)	-
21. 為替レート（対米ドル）	19.96ZMW	17.39ZMW (Apr)
22. 主要政策金利（現行、年利%）	9.0 (Nov)	9.0 (Nov, 2021)

3. 貿易統計

<p>・輸出</p> <p>1. 輸出相手国割合（2022年3月） 1位：スイス 41.7% 2位：中国 21.4% 3位：シンガポール 12.2% 4位：コンゴ（民） 9.1% 5位：南アフリカ 3.5% その他 12.1%</p> <p>2. 主要輸出品目 電解精錬用の銅陽極／エレクトロウオン銅陰極 ／粗銅／硫酸／発煙硫酸／セメント／甘蔗糖</p>
<p>・輸入</p> <p>1. 輸入相手国割合（2022年3月） 1位：南アフリカ 23.0% 2位：中国 13.6% 3位：UAE 8.1% 4位：インド 4.9% 5位：日本 2.8% その他 47.6%</p> <p>2. 主要輸入品目 石油／内燃機関用燃料／軽油／硫黄／医薬品</p>

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2022年1月から3月までの貿易額。1USD=17.77ZMW（2022年3月までのザンビア中央銀行が替相場月平均を用いて換算）
*3 2022年1月から3月までの貿易額。1USD=114.33円（2022年3月までの日銀基準外為替相場月平均を用いて換算）
< 出典 > 1, 8, 9, 10, 12, 14: Central Statistics Office / 2, 4, 7: World Bank / 3: ILO / 5: IMF / 6, 16, 20: Ministry of Finance / 11, 13, 15: 日本財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 19, 21, 22: Bank of Zambia